

【Q 雲仙市-瑞穂エリア Unzen City-Mizuho Area】



県道 131 号線から(九千部岳・吾妻岳・大峯と農作業車)

雲仙市-瑞穂エリアでは、“北面の雲仙岳”が眺望できます。小中学校の校歌には雲仙岳が登場し、地域で古くから親しまれてきたことが分かります。雲仙岳の山岳信仰が盛んであった往時をしのばせるものとして、温泉神社の分社(瑞穂の温泉神社)が現存しています。

山並みとしては、眉山～平成新山・国見岳・妙見岳～九千部岳・吾妻岳～鉢巻山の並びで多くの山々が見えますが、相対的に目立つ山は、近くに位置する大峯・吾妻岳・鳥甲(とりかぶと)山です。大峯と吾妻岳は、雲仙岳北端を占める当エリアの山で、非常になだらかなシルエットが特徴的です(↑)。鳥甲山は、隣の国見エリアの山ですが、鳥のとさかのように山頂部が三角形をしており、また背面に NTT の電波塔を背負っていて、遠く沖合のフェリーからも視認できます。

大峯の東側中腹の一角に、“岩戸山”と地元で呼ばれている岩山があり、切り立った岩壁からは湧水が滴っていて、岩戸神社が建てられています。一帯にはスギの巨木が林立し、その幻想的な雰囲気から、パワースポットとして密かに人気を集めています。ここから湧き出す“岩戸湧水”は、水量も豊富で味に定評があり、まさに雲仙岳の恵みです。

島原半島では、江戸時代から雲仙岳一帯で牛馬の放牧が大々的に行われていた歴史もあって、畜産業が盛んですが、当エリアでは乳牛の飼育が盛んで、毎年5月にはみずほの森溪流公園で“モーモーフェスティバル”が開催され、乳しぼり体験やバター手づくり体験に参加できます。

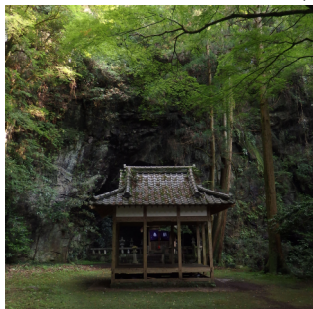
雲仙岳の様々な表情を探しながら、瑞穂エリアを旅してみませんか？

●瑞穂エリアの観光情報はこちら↓

雲仙市観光物産課(ガイドブック) http://www.city.unzen.nagasaki.jp/info/prev.asp?fol_id=10176



国道 251 号線の島鉄大正駅付近から(北から)



岩戸神社とそこから湧き出る岩戸湧水



大峯の全景